

## 乳中AFM1及び飼料中AFB1の 国際的な評価状況(概要)

### <EU>

1996年アフラトキシンに関する意見書  
EU 食品科学委員会(SCF)

2004 飼料のAFB1汚染に関する意見書  
EFSA

遺伝毒性発がん物質  
AFM1の発がん性をAFB1の1/10と推定

乳のAFM1汚染を防ぐのに、  
飼料中AFB1の規制は有効である

### <JECFA>

2001 アフラトキシンM1

AFM1の発がん性はAFB1の1/10  
Cullen et al. (1987)

食品中のAFM1を制御する  
最も有効な手段は、乳牛用飼料中の  
AFB1量を制御すること

## 乳中AFM1及び飼料中AFB1の 国際的な評価状況(概要)

	AFM1	飼料中のAFB1
IARC	<ul style="list-style-type: none"> <li>げっ歯類の肝臓に発がん作用</li> <li>ヒトにおける発がん性の証拠は不十分</li> <li>グループ2B</li> </ul> (1993)	
EU	<ul style="list-style-type: none"> <li>遺伝毒性発がん物質の可能性</li> <li>AFM1の発がん性をAFB1の1/10と推定</li> </ul> (1996年アフラトキシンに関する意見書 EU 食品科学委員会(SCF))	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳のAFM1汚染を防ぐのに、飼料中AFB1の規制が有効である</li> </ul> (2004 飼料のAFB1汚染に関する意見書 EFSA)
JECFA	<ul style="list-style-type: none"> <li>AFM1の発がん性はAFB1の1/10と概算</li> </ul> Cullen et al. (1987) (2001 アフラトキシンM1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品中のAFM1を制御するのに乳牛用飼料中のAFB1量を制御することが最も有効である</li> </ul> (2001 アフラトキシンM1)